

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

第35回通常総会

日 時：令和3年6月23日（水）16時00分～16時40分

会 場：オンライン形式

— 議 事 次 第 —

第1号議案. 令和2年度 事業報告及び収支決算（案）

第2号議案. 令和3年度 事業計画及び収支予算（案）

第3号議案. 役員の選任等（案）

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

令和 2 年度

事業報告及び収支決算（案）

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

I 概要

令和2年度は、新型コロナウイルスのパンデミックの影響から当推進会議の各種活動にも大きな制約を課せられ、例年と異なる対応を余儀なくされました。特に当推進会議の最も中心的な事業である交流展示会及び技術研究発表会について、実会場での開催は断念せざるを得ず、オンライン形式での開催といたしました。同時に大阪での論文発表会も非開催といたしました。当該発表会がオンライン形式となったことから、大阪も含め、広く全国から多数の参加を頂きました。

スマートシティ・ワーキンググループについても、オンライン形式を多用した活動となりましたが、技術研究発表会の特別講演会で羽藤先生のご指導の下、報告いたしました。

また平成28年度から令和2年度を一つの区切りとして実施してきた「都市基盤技術サイト運営事業」については、令和3年度以降も継続して実施することといたしました。

このほか、昨年度と同様に当推進会議が実施する事業と別に、(一財)都市みらい推進機構等が実施する講演会等に共催として参画し、会員の皆様へ最新の知識や技術の習得並びに情報交換を行う機会の提供に努めました。

II 会員

1. 会員数状況

	令和2年4月1日以降	令和3年3月31日時点	備考
正会員	26	25	三菱電機(株)
特別会員	102	101	丸田頼一氏(歿)
合計	128	126	

2. 入退会

退会

正会員 / 三菱電機株式会社

特別会員(学識) / 千葉大学名誉教授 丸田頼一氏(歿)

III 評議員会・総会

1. 第50回 評議員会 令和2年6月17日（書面表決）

- ・第34回通常総会付議事項

2. 第34回 通常総会 令和2年6月17日（書面表決）

- ・第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算（案）
- ・第2号議案 令和2年度事業計画及び収支予算（案）
- ・第3号議案 役員の選任等（案）

IV 各部会の事業

1. 企画運営部会

評議員会の事前審議として、令和2年6月3～8日に第34回企画運営部会を（メール協議にて）開催し、予算・決算および事業全般の検討を行うと共に、講演会、交流見学会、意見交換会についての開催を決定しました。

令和2年度に開催された行事は以下の通りです。

（1）講演会

① 令和2年10月23日（オンライン形式）

「都市と街路空間の新たな展開」

講師：埼玉大学大学院 理工学研究科環境科学・社会基盤部門

教授 久保田 尚 氏

② 令和2年11月20日 <技術研究発表会 特別講演会>（オンライン形式）

「スマートシティを考える」

講師：東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤 英二 氏

③ 令和3年1月14日（オンライン形式）

「ニューノーマルも見据えたまちづくりと都市空間」

講師：国土交通省 都市局 街路交通施設課長 中村 健一 氏

④ 令和3年1月29日（オンライン形式）

「国土政策における長期的な展望」

講師：国土交通省 国土政策局 総合計画課長 藤田 昌邦 氏

（2）交流見学会

- ① 令和3年3月24日「相鉄・東急直通線新横浜駅並びに横浜駅地下街」

（3）意見交換会

通常総会が書面表決、技術研究発表会がオンライン形式の開催となったため中止

2. 技術交流部会

「都市のレジリエンスを支え連携して未来を創る技術」をテーマに、「第27回交流展示会」、「第32回技術研究発表会」をオンライン形式にて開催しました。

（1）「第27回交流展示会」開催概要

日 時 令和2年11月20日

場 所 オンライン形式

（特設サイト http://www.uit.gr.jp/tech_research/index.html）

出展数 10 / 自治体・団体

（2）「第32回技術研究発表会」に関する会議等及び開催概要

1) 会議の開催

第58回技術研究発表委員会	令和2年3月9日（ウェブ会議）
第59回技術研究発表委員会・小委員会	令和2年3月26日
第60回技術研究発表委員会	令和2年4月15日（ウェブ会議）
第61回技術研究発表委員会・小委員会	令和2年7月6日
第62回技術研究発表委員会	令和2年7月31日（ウェブ会議）
第63回技術研究発表委員会	令和2年9月9日（ウェブ会議）
第64回技術研究発表委員会 論文審査委員会	令和2年10月6日（ウェブ会議）
技術研究発表会・予行演習1（小委員会）	令和2年11月12日（ウェビナー）

技術研究発表会・予行演習2（技術研究発表委員会）

令和2年11月13日（ウェビナー）

技術研究発表会・予行演習3（技術研究発表委員会）

令和2年11月16日（ウェビナー）

技術研究発表会・直前演習

令和2年11月19日（ウェビナー）

第65回技術研究発表委員会

令和2年12月15日（ウェブ会議）

2) 論文募集

第32回技術研究発表会論文募集案内

令和2年5月15日

同論文応募（予約申込）

令和2年7月2日

同論文応募（梗概・論文提出）

令和2年9月7日

3) 論文審査

令和2年9月中旬～末

4) 「第32回技術研究発表会」開催概要

日 時 令和2年11月20日 12時30分～18時30分

場 所 オンライン形式

聴講参加 384名（前年度 178名）

① 論文発表

A 環境・エネルギー	6編	
B 情報・防災・交通	5編	（内2編は共通セッション）
C 都市の再興・まちづくり	6編	（内1編は共通セッション）
合 計	17編	

※ 梗概および論文はホームページに掲載

② プロジェクト・技術報告 5編 （内1編は共通セッション）

③ 共通セッション テーマ「防災・減災・復興に取り組む新たな発想」

④ 講演会 「スマートシティを考える ～スマートシティWG報告～」（前掲）

東京大学大学院工学研究科 教授 羽藤 英二 氏

⑤ 表彰 次のとおり、優秀賞、奨励賞を発表しました。

	優秀賞	奨励賞
A 環境・エネルギー	1 編	2 編
B 情報・防災・交通	1 編	1 編
C 都市の再興・まちづくり	1 編	1 編
合 計	3 編	4 編

■第32回技術研究発表会 受賞者 *敬称略

A 環境・エネルギー

優秀賞 「大丸有地区における環境データを活用したWEBサービス

～日陰で快適な外歩き「TOKYO OASIS」～

三菱地所株式会社／一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会 北村真志

三菱地所株式会社 松井宏宇

Pacific Spatial Solutions 株式会社 八十島裕、伊勢紀

株式会社三菱地所設計 植田直樹、田代英久、中条瑛子

奨励賞 「ポリウレタ樹脂を用いたコンクリート構造物の機能保持・向上技術」

清水建設株式会社 久保昌史

日本工営株式会社 輿石正己

三井化学産資株式会社 井出一直

奨励賞 「草加松原D街区での雨水流出抑制対策の取組み」

独立行政法人都市再生機構 渡邊安輝

B 情報・防災・交通

優秀賞 「Wi-Fiパケットセンサーを用いた歩行流動観測に関する研究」

国土交通省 国土技術政策総合研究所 河井裕紀、新階寛恭、吉田純土

岡山県岡山市 中西賢也

一般財団法人計量計画研究所 森尾淳

奨励賞 「免震建物の免震層モニタリングシステムの開発」

株式会社竹中工務店 曾根孝行、山本雅史、吉澤睦博

C 都市の再興・まちづくり

優秀賞 「災害復旧工事マネジメント業務による地方公共団体支援の仕組みづくりについて」

独立行政法人都市再生機構 松村佳記

奨励賞 「糸魚川市駅北大火からの復興まちづくり」

新潟県糸魚川市 齊藤喜代志、渡辺茂

独立行政法人都市再生機構 太田巨

計7編

3. 広報部会

ホームページを定期的によりリニューアル更新し、最新の情報を提供しました。

データベース化した発表論文に第32回分を追加掲載し、会員非会員を問わず閲覧できるようにしました。

技術研究発表会の募集・開催について、外部のサイトに掲載し参加募集および開催周知に取り組みました。

（1）主なHP掲載内容

- ・ 組織概要更新
- ・ 第32回技術研究発表会 論文募集要綱
- ・ 第32回技術研究発表会 各論文および梗概
- ・ 第32回技術研究発表会 開催結果
- ・ 第27回交流展示会開催 募集要綱
- ・ 第27回交流展示会 開催結果
- ・ 講演会 開催結果
- ・ 交流見学会 開催結果

（2）外部HP等への告知掲載

- ・土木学会（JSCE）／情報交流サイト
- ・日本都市計画学会／メルマガ、Facebook
- ・国土交通省都市局／メルマガ、官民連携まちづくりポータルサイト
- ・近畿建設業協会／メルマガ

4. スマートシティ・ワーキンググループ

令和元年度に発足したスマートシティ・ワーキンググループは、令和2年度も引き続き木更津市および江東区を対象地としてグループ別に調査・検討を実施いたしました。また、羽藤先生を交えた両グループ合同の全体会議は次の通り開催いたしました。

第4回会議 令和2年8月19日（オンライン形式）

第5回会議 令和2年10月5日（オンライン形式）

第6回会議 令和2年11月9日（オンライン形式）

令和2年11月20日開催の技術研究発表会の特別講演会で、羽藤先生のご指導の下、両地区についてのワーキンググループの活動成果を発表いたしました。

V 都市基盤技術サイト運営事業

都市基盤技術サイト（てく Tech まちさんぽ）は、関連団体との相互リンク、国土交通省及び参加各社のプレスリリース掲載及び掲載コンテンツのリンク切れ対応を継続実施しました。また、本サイトの「公式Facebook ページ」でも関連の情報発信を実施しました。

平成28年9月末から東京オリンピックの開催時（令和2年度）を一つの区切りとして実施してまいりました「都市基盤技術サイト運営事業」ですが、参加各社(30社)のご意向を伺い、令和3年度以降も25社の参加を得て継続して実施することといたしました。当該事業を継続するに際しては、なお一層効率的な管理運営に心がけながら、有意義な情報提供の実施に努めてまいります。

令和2年度収支決算（案）

ア-バ ソイワ・テノゾ -推進会議

1. 一般会計

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

令和2年度収入	4,600,070	円	(事業活動収入計 参照)
令和2年度支出	4,578,754	円	(事業活動支出計 参照)
次期繰越金	21,316	円	

令和2年度収支決算

（令和2年4月1日から令和3年3月31日）

1. 一般会計

（単位：円）

事 項	予算額 A	決算額 B	差異 A-B
事業活動収入			
会費収入	4,600,000	4,600,000	0
雑収入	2,000	70	1,931
前年度繰越金	0	0	0
展示積立金取崩	700,000	0	700,000
事業活動収入計	5,302,000	4,600,070	701,930
事業活動支出			
事業費	2,100,000	1,166,840	933,160
技術交流部会費	1,130,000	435,347	694,653
調査委員会費	250,000	50,653	199,347
見学会費	30,000	0	30,000
講演会・意見交換会費	30,000	17,000	13,000
広報部会費	400,000	441,100	△41,100
総会費	30,000	0	30,000
謝金	230,000	222,740	7,260
管理費	3,202,000	3,411,914	△209,914
人件費	1,600,000	1,900,000	△300,000
事務費	1,552,000	1,500,000	52,000
雑費	50,000	11,914	38,086
事業活動支出計	5,302,000	4,578,754	723,246
当期収支差・次年度繰越金	0	21,316	0

貸借対照表

（令和3年3月31日現在）

1. 一般会計		(単位：円)	
借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
(流動資産)	6,174,842	(流動負債)	-
現金	46,123	未払金	-
普通預金	6,128,719	預り金	-
未収入金	-		
		(正味財産)	6,174,842
		展示会費用積立金	6,174,842
合計	6,174,842	合計	6,174,842

財 産 目 録

（令和3年3月31日現在）

1. 一般会計		（単位：円）
項 目	内 訳	金 額
【資産の部】		
（流動資産）		6,174,842
1. 現金預金		
(1) 現 金		46,123
(2) 普通預金		6,128,719
	みずほ銀行 江戸川橋支店	5,765,727
	三菱UFJ銀行 兜町支店	362,992
2. 未収入金		
(1) 未収入金		-
【負債の部】		
（流動負債）		-
1. 未払金		-
2. 預り金		-
【正味財産】		6,174,842

令和2年度収支決算（案）

ア-バ ソイワ-テカゾ -推進会議

2. 情報発信事業会計

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

令和2年度収入	2,113,093	円	(事業活動収入計 参照)
令和2年度支出	1,820,658	円	(事業活動支出計 参照)
次期繰越金	292,435	円	

令和2年度収支決算（案）

（令和2年4月1日から令和3年3月31日）

2. 情報発信事業会計

（単位：円）

事 項	予算額 A	決算額 B	差異 A-B
事業活動収入			
会費収入	1,800,000	1,800,000	0
雑収入	0	8	△8
前年度繰越金	313,085	313,085	0
事業活動収入計	2,113,085	2,113,093	△8
事業活動支出			
事業費	450,000	470,658	△20,658
人件費	750,000	750,000	0
事務費	600,000	600,000	0
事業活動支出計	1,800,000	1,820,658	△20,658
当期収支差・次年度繰越金	313,085	292,435	20,650

貸借対照表

（令和3年3月31日現在）

2. 情報発信事業会計

（単位：円）

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
(流動資産)	292,435	(流動負債)	-
現 金	184,000	未払金	-
普通預金	108,435	預り金	-
未収入金	-		
		(正味財産)	292,435
合 計	292,435	合 計	292,435

財 産 目 録

（令和3年3月31日現在）

2. 情報発信事業会計		（単位：円）
項 目	内 訳	金 額
【資産の部】		
（流動資産）		292,435
1. 現金預金		
(1) 現 金		184,000
(2) 普通預金		108,435
	みずほ銀行 江戸川橋支店	108,435
2. 未収入金		
(1) 会費未収入金		-
【負債の部】		
（流動負債）		-
1. 未払金		-
2. 預り金		-
【正味財産】		292,435

令和3年6月9日

監査報告書

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議
会長 高橋 洋二 殿

監 事 久保田 勤 ⑩

監 事 河野 俊郎 ⑩

監事は、令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の当推進会議の財産の状況及び業務の執行状況の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

令和2年度の事業報告及び収支決算の説明を受け、会計帳簿並びに関係書類等の検査により、業務及び財産の状況を監査した。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告の内容は、当会の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 会計帳簿等関係書類を検査したところ、適正に処理されており、当推進会議の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。

以上

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

令和3年度

事業計画及び収支予算（案）

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

I 概要

当推進会議は、より高度な都市基盤施設に関する啓発及びそれを支える新しい技術の開発促進、その成果の都市づくりへの普及・活用を推進するために、展示会、技術研究発表会、スマートシティ・ワーキンググループ、各種講演会等を積極的に実施してまいります。

都市基盤技術サイトの運営事業を引き続き実施いたします。

なお、活動の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策に留意しつつ会員の皆様のご意見・ご要望を踏まえ、かつ、会員の皆様のご支援・ご協力、国土交通省都市局のご指導を仰ぎながら、以下の事業を行います。

II 各部会の事業

評議員会の下に設置されている各部会は次の事業を企画し、実施します。

1. 企画運営部会

企画運営部会は評議員会の事前審議として当推進会議の予算・決算および事業全般の検討を行うとともに、以下の事業を企画します。

(1) 講演会

技術研究発表会開催時に講演会を実施いたします。

このほか、都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会と合同で講演会等を開催します。

(2) 交流見学会

地方公共団体、プロジェクト関係者との意見交換、交流を重視した見学会を2回程度実施します。

(3) 意見交換会

技術研究発表会等の機会に、国土交通省等関係機関の方々と交えて意見交換会を開催します。

2. 技術交流部会

令和3年11月19日に丸ビルホール&コンファレンススクエア（東京会場）にて「第33回技術研究発表会」を開催します。閉会式及び表彰式終了後に、意見交換会も開催します。

同日、「第28回交流展示会」を同会場にて開催します。

技術研究発表会及び交流展示会の実施にあたり、企業や地方公共団体等からの参加者が増加するようPRに努めます。発表論文はホームページに掲載し、会員及び発表者、参加者等が閲覧できるようにします。

令和4年2月に建設交流館（大阪会場）にて「都市づくりについての技術研究発表と講演会」を開催します。

3. 広報部会

ホームページの更新をきめ細かく行い、産・学・官がそれぞれ双方向で情報交換できるようホームページを活用し、情報の提供等を行います。

また、昨年度に引き続き発表論文の保存、管理等を安全・確実にを行い、閲覧において検索機能を備えた発表論文のデータベース化をさらに進めます。

4. スマートシティ・ワーキンググループ

東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤英二先生（UIT 副会長）にご指導を仰ぎながら、国土交通省の関係職員も交えてスマートシティに関して研究を進めます。

III 都市基盤技術サイト運営事業

日本の民間企業の有する都市基盤技術等に関する情報を総合カタログ的に取りまとめ、インターネットを通じて広く国内外に発信する都市基盤技術サイト（てく Tech まちさんぽ）の運営を継続します。その際、なお一層効率的な管理運営に心がけてまいります。

また、サイトの公式 Facebook ページにて関連情報を発信するとともに、国土交通省と連携し本サイトの周知や都市基盤技術のPRに努めます。

令和3年度収支予算（案）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

1. 一般会計

（単位：円）

事 項	予算額	令和2年度予算	備 考
事業活動収入			
会費収入	4,400,000	4,600,000	20万×22社
雑収入	1,000	2,000	預金利息等
前年度繰越金	21,316	0	
展示積立金取崩	900,000	700,000	
事業活動収入計	5,322,316	5,302,000	
事業活動支出			
事業費	1,820,000	2,100,000	
技術交流部会費	1,130,000	1,130,000	技術研究発表会
調査委員会費	100,000	250,000	スマートシティWG
見学会費	30,000	30,000	
講演会・意見交換会費	30,000	30,000	
広報部会費	300,000	400,000	HP更新等
総会費	10,000	230,000	
謝金	220,000	223,000	
管理費	3,502,000	3,202,000	
人件費	1,900,000	1,600,000	
事務費	1,552,000	1,552,000	
雑費	50,000	50,000	通信費等
事業活動支出計	5,322,000	5,302,000	
当期収支差・次年度繰越金	316	0	

令和3年度収支予算（案）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

2. 情報発信事業会計

（単位：円）

事 項	予算額	令和2年度予算	備 考
事業活動収入			
会費収入	1,500,000	1,800,000	6万円×25社
雑収入	0	0	
前年度繰越金	292,435	313,085	
事業活動収入計	1,792,435	2,113,085	
事業活動支出			
事業費	450,000	450,000	
人件費	740,000	750,000	
事務費	600,000	600,000	
事業活動支出計	1,790,000	1,800,000	
当期収支差・次年度繰越金	2,435	313,085	

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

役員を選任等（案）

<任期2年>

自 令和2年6月総会后

至 令和4年6月30日

ア・バ・ン・イ・ン・フ・ラ・テ・ク・ノ・ジ・ー・推・進・会・議

役 員 名 簿 (案)

敬称略・順不同【2021年通常総会后】

会 長 【評議員】		
東京海洋大学	名誉教授	高橋 洋二

副会長 【評議員】		
東京大学大学院	工学系研究科 教授	羽藤 英二
日本大学	理工学部土木工学科 教授	中村 英夫

【評議員】 正会員		
鹿島建設株式会社	執行役員 開発事業本部長	塚口 孝彦*
清水建設株式会社	営業総本部 街づくり推進室長	澤畑 克実
大成建設株式会社	都市開発本部 プロジェクト開発第一部長	原田 憲雄
株式会社竹中工務店	常務執行役員	佐藤 清吾
株式会社日建設計総合研究所	顧問	上野 和彦
東日本旅客鉄道株式会社	執行役員 総合企画本部品川・大規模開発部長	高橋 武
三井不動産株式会社	執行役員 開発企画部長	加藤 智康
三菱地所株式会社	執行役員 コマーシャル不動産戦略企画部長	井上 俊幸
【評議員】 特別会員		
東京都	都市整備局 都市基盤部長	谷崎 馨一*
独立行政法人都市再生機構	理事	新居田 滝人*
早稲田大学	名誉教授	尾島 俊雄
東京大学	名誉教授	新谷 洋二

【監 事】		
小田急電鉄株式会社	新宿プロジェクト推進部長	久保田 勤
株式会社オリエンタルコンサルタンツ	執行役員	河野 俊郎

<任期2年：(令和2)2020年総会后～(令和4)2022年6月>

*・・・(令和3)2021年度交代

役員選任(案)

敬称略、順不同

◆第36回通常総会 終了後より

【評議員】

鹿島建設株式会社

(新任)	塚口 孝彦	執行役員 開発事業本部長
(前任)	浦嶋 将年	顧問

東京都

(新任)	谷崎 馨一	都市整備局 都市基盤部長
(前任)	安部 文洋	都市整備局 都市基盤部長

独立行政法人都市再生機構

(新任)	新居田 滝人	理事
(前任)	岡 雄一	理事

退任

(退任)	丸田 頼一	千葉大学名誉教授	(令和2年6月 歿)
------	-------	----------	------------